



〈施術風景〉
ピートモスは発根促進作用が高い。

といい、土中ではなく、幹のどの部分にでも発生する木が本来もつ、自然治癒力を生かした再生法です。

切らないでよかった！

〈自然治癒力を生かした樹勢回復術〉

前号の予告により、今号でも樹勢回復の話です。回復すべき箇所形成層を削り出すという、言わば外科的治療の紹介です。よく街路樹のうろになった所に、ウレタノンや、モルタル詰めなどの治療(?)の痕を見る事がある。自分に置き換えてみると何とも痛々しくゆるせない気分になるものです。今回は、不定根



〈施術一年後〉
すでに不定根が見える。

まず、治療を要すべき箇所を形成層が出るまで削り出し、そこに水をしっかりしめした毛足の長いピートモス(市販にはあまりない)で覆い、黒いシートで巻き、発根を促し、それを土中まで成長させて、やがて幹のもつ保持力を得る。これが今回の樹勢回復のメカニズムです。発根まで早いものでは、半年から、一年、三年経つと立派に、実を付けるまでになる。写真は、そんなお客様の方の木の、喜びの一部始終です。



〈施術完了〉



尚林庭園設計事務所
〒193-0823 東京都
八王子市横川町 1096-3
Tel:042-622-8840

VOL. 4

薬草酒の作り方

梅酒用のビンなどにクズの花を八分目まで入れる。焼酎を口まで注ぎ入れ、氷砂糖 40~50g を加える。保存期間は半年ぐらい経てば飲めます。

花を漬けます。忘年会など、酒を飲む機会も多い季節。酒を飲んで悪酔いしない、二日酔いにもならない。飲んでえの筆者一押のおすすめの薬草酒です。

クズ……
いつもやっかいもの扱いされる雑草にも使い道はいろいろ、今回は焼酎漬けとトロロ汁を紹介。



よく見れば
なすな花咲く
垣根がな
隣の芝の青さばかり羨むのではなくパンペン草も、けっこう白いかわいい花を付けるではないか。



〈施術八年後〉
見事再生回復！
もう支柱もいらない。

天声樹語

●オオバコ……
ガマの油の口上で有名なオオバコ、秋に茶色になった穂を、二三日干し、殻を息で吹き飛ばしお味噌汁に入れる。咳止めの効果があるトロロ汁となります。

先日、テレビに娘の遺言により、つり花の木の再生に取り組む事を期に、軽井沢の木々の樹勢回復に力をそそぐ婦人の話を放映していた。再生方法は、今号紹介と、まったく同様なものと、察しられた。

再生された樹木は『百本までは数えたが……』と報じていた。

再生樹木は、数本に及ぶのだから。その婦人は、樹木医の資格を取り、今も活躍している。

記念樹として、または故人が大事にしていた木など、人の寿命より長い木には、人の想いがこもるもの。そして尊厳が有る。

切るのを、今少し待つてみては。樹木再生に、「一考を！」
編集後記にかえて……。